

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和7年度)

(宛先)岡崎市長

令和8年4月17日

団体名 特定非営利活動法人蓮華の家

代表者 理事長 安藤千都子

構成員 197人(※令和8年4月1日時点の構成員数)

団体の目的:団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

この法人は、児童及び地域住民に対して、児童の心と身体の健全な発達に関する事業を行い、児童を保護し、文化の継承・振興を図り、働く者の権利を守り男女共同参画社会に寄与すること、明るい日本の未来を築くための土台作りを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外)人 数※1	活動内容
6月～9月 計3回 (6/17・7/4・9/11)	蓮の実保育園 (岡崎市上地町赤 菱29-1)	岡崎市内の未就 学児の親子	24人 (親子12組)	子育て支援「蓮の子講座」の実施。 園を開放して、リズム遊びの体験と、子育てで悩む保護者の育児相談会。
11月8日(土)	蓮の実保育園 (岡崎市上地町赤 菱29-1)	市内の住民(大 人、学生、未就学 児)	10人	むすび座の人形劇を実施した。
毎月第3土曜日 計12回	蓮華の家共同 保育園(岡崎市福 岡町字西市仲27 番地)	岡崎市福岡地区 の住民他	のべ100人	資源ごみの回収をおこなった。

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

地域の親子に、遊びの体験や子育てをおこなう保護者の悩みを共有する場を提供することができました。また小さな子から参加できる人形劇の実施により、子どもたちの豊かな心、発達を育み、文化の継承にも寄与しました。資源回収により、地域の資源ごみの分別回収と、意識向上を促しました。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← 5 (4) 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

資源回収や、「蓮の子講座」を実施し、地域の方にご参加いただきました。また、大人だけでなく小さな子から参加できる人形劇の企画により、子どもたちに生の観劇に触れる機会を作ることができました。もっと多くの方にもご参加いただけるように工夫していきたいと思っております。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。